

令和5年度 第4回政策推進会議報告

日時 7月20日 9時30分～10時45分

場所 WEB 会議室

出席者 20人

1 (仮称) 尼崎市こども計画 (第5期尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画・第3期尼崎市子ども・子育て支援事業計画を含む) の策定に係る「市民意見聴取に係る施策の概要」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

こども青少年局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・ (森山副市長) これまで以上に子育て環境が多様化している中で、こども家庭庁等も提唱している子ども及び子育て当事者、若者の意見を聞く、反映させるということが重要になってきており、今回の計画の策定にあたっては、こうしたことをかなり意識的に取り入れている。デジタル媒体等を活用しながら若者の意見聴取なども反映させた形での計画策定を進めたいと考えているため、しっかりと取り組んでいただきたい。
- ・ (市長) 従来のわいわいキッズ尼崎はどちらかというと、保育の量の見通しが中心だったが、こども基本法もできた中で、量の計画もさることながら、子育て施策全般について向こう5年間くらいの市としての大きな方向性を示せる計画になればと考えている。今後、どういう観点で子ども、子育て世代を応援していくのか、事業者を対象に含めるのか等、いろいろな論点があるため、またこれから議論をしていく必要があると考えている。

2 尼崎市文化財保存活用地域計画の策定に係る「市民意見聴取に係る施策の概要」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

安田教育次長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・ (森山副市長) これまで保存を中心にしてきた文化財を、有形無形も含めて、地域の資産として、しっかりと継承していく。そのために活用できるようにしていきたいということである。総合計画の中でもあるように、例えば文化ビジョンとの関係、観光との関係、歴史的景観の保全、建築物の保全等のようなことについて、庁内的な連携が重要な計画であると考えている。
- ・ (安田教育次長) 庁内の関係課や観光局、学識経験者、商工会議所の方等で構成する協議会で、たたき台等を検討していきたい。
- ・ (市長) 工場夜景などのようなものも文化財に含まれるのか。
- ・ (安田教育次長) 今現在見ている風景なども含め、文化財の指定未指定関わらず、多種多様なものを有形無形の文化財としている。風土に育まれた生活様式や食べ物等、食文化も「文化」であると考えており、こうした文化についてテーマを決めるなど、一つのストーリーとして、地域との関わりのようなことも含めて魅力を発信していきたい。
- ・ (市長) そこにある文化財を守るためにこの計画を使うのではなく、この計画を使って、地域の眠っている素晴らしい資源を呼び起こし、観光などに使っていくという発想が非常に重要だと感じているため、しっかりと連携して取り組んでほしい。

3 令和4年度企業会計決算の概要について

公営企業管理者から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・ (市長) 単年度では一見、水道も下水も工業用水もプラスであるが、長期的な視点で見た場合、利用者が全体的に減る中での管の維持等を考えていくと、決して楽観的には見ることができないという評価だという理解しているがよいか。
- ・ (公営企業管理者) その通りである。水道の給水量も下水の使用量についても、人口減少等で収入につきましては減少傾向になっており、モーターボート競走事業も含め、将来に向けて安心できるような財政状況ではないということは、4会計とも共通の課題である。

4 その他

- 危機管理安全局長から、令和5年度尼崎市防災総合訓練について説明。
- 総合政策局長から、令和5年度市民提案制度 提案状況について説明。
- 総合政策局長から、みんなのサマーセミナー開催について説明。
- 消防局長から、熱中症救急搬送状況について説明。
- 安田教育次長から、第9回企画展「尼崎紡績－工都尼崎のはじまり－」の開催について説明。